

無痛分娩時の看護

1, 目的

無痛分娩を行う産婦に対し、硬膜外カテーテル挿入および薬剤投与中の管理を安全に行う

2, 必要物品

【硬膜外カテーテル・PCA ポンプ】

- ①硬膜外カテーテルキット ②脊髄くも膜下/硬膜外針 25G ③23G カテラン針×2
- ④神経麻酔用採液針×2 ⑤赤色プラスチック針 ⑥黄色シリンジ(10ml、20ml×2)
- ⑦10ml 白ロックシリンジ ⑧クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール消毒液
- ⑨ステリー ⑩固定用テープ(テガダーム、マイクロポア、5cm 幅ダーミセルテープ)
- ⑪加圧式医薬品注入器(エイミーMP ユニット) ⑫黄色三方活栓 ⑬黄色ネット

【その他】

- ①個人防護具(サージカルマスク、ゴーグル、プラスチックエプロン、キャップ、ディスポーザブル手袋、滅菌手袋) ②無痛分娩薬剤カート ③非観血的自動血圧計
- ④心電図モニター ⑤パルスオキシメーター ⑥呼吸センサー ⑦体温計
- ⑧分娩監視装置 (CTG モニター) ⑨CTG モニターベルト ⑩酸素吸入器 ⑪酸素マスク ⑫麻酔器 ⑬救急カート ⑭除細動器 ⑮筒形保冷剤 ⑯分娩台マット

3, 硬膜外麻酔挿入準備

- 1) 分娩室の環境と必要薬剤、物品の準備を行う。
- 2) 本人確認を行う。産婦にキャップを着用し、分娩室に入室する。その際、アレルギーの有無を確認する。
- 3) 医師から説明を受けていることを確認し、同意書に産婦本人の署名と医師のサインがあることを確認する。
- 4) 心電図、自動血圧計、パルスオキシメーターを装着し、バイタルサインを測定し、パルトグラムに記録する。
- 5) 分娩監視装置を装着する。

4, 硬膜外麻酔実施

- 1) 産科医、麻酔科医、助産師、産婦とでブリーフィングを行う。
- 2) 麻酔科医が必要物品の確認と薬剤の準備を行う。
- 3) 患者の右側寝衣の袖を外し、右側臥位にし、背部を露出させ、CTGモニターベルトを殿部まで下げる。穿刺部位の皮膚状態を観察する。
- 5) 患者に右側臥位を保持するよう説明し、協力を得る。
- 6) 腰部に処置シーツをしき、体位固定のサポートをする。不安の軽減に努める。
- 7) 硬膜外カテーテルを挿入後、挿入位置や長さを確認する。
- 8) バイタルサイン測定と全身状態を観察し、記録する。
- 9) 麻酔科医がステリーとテガダームで刺入部周囲のカテーテルを固定する。
- 10) カテーテルの固定が終了後、直ちに体位を仰臥位にする。
- 11) 麻酔科医は、硬膜外カテーテルに 1.5%キシロカイン 3ml を注入し、効果や副作用を確認する。
- 12) バイタルサインを 5 分間隔で測定し、副作用の有無、CTG モニターを観察し、記録する。
- 13) 麻酔科医は、0.125%ポプスカイン 3ml の分割投与を 5 分おきに 3 回行う。投与ごとにコールドテストを行い、麻酔効果を評価する。

14) 麻酔の効果を確認後、産婦の寝衣を整える。

5、PCA ポンプ使用中の管理

- 1) 産科医は、薬剤の種類や量を確認し、カートリッジに薬剤を充填する。ポンプ本体にセットし、プライミングを行う。
- 2) 産科医と助産師とで薬剤の種類と量、設定内容を指示簿と確認する。
- 3) 産科医が PCA ポンプによる鎮痛薬投与を開始する。
- 4) 助産師は 1 時間ごとに PCA ポンプの作動状況、PCA 回数と投与量（積算量）を確認する。
- 5) 硬膜外カテーテルの接続や刺入部を 1 時間ごとに確認する。
- 6) バイタルサイン測定と全身状態を観察する。
- 7) 疼痛の程度、コールドテスト、BromageScale、MEOWS の評価を行う。
- 8) 疼痛部位と NRS、麻酔効果範囲を確認し、硬膜外カテーテルからの薬効を含め評価する。
- 9) 産婦に PCA ポンプの使用方法や Push のタイミングを説明する。
- 10) 産婦に硬膜外カテーテル挿入中の注意点を説明する
- 11) 副作用や合併症の有無を確認する。症状変化が見られた際は、すぐに知らせよう説明し、産科医と麻酔科医へ報告する。
- 12) 麻酔開始後は歩行できないことを説明し、3 時間毎に導尿を行う。

6、薬液注入終了後

- 1) 胎盤娩出後、PCA ポンプによる鎮痛薬投与を終了する。
- 2) PCA 終了時刻、投与量、PCA 回数を記録する。
- 3) 無痛分娩薬品カート、麻酔カート、PCA（インジェクター）を手術室薬剤部に返却する。
- 4) PCA による鎮痛薬投与終了時刻から 6 時間後にバイタルサイン測定と全身状態を観察する。BromageScale の評価後に初回歩行を行う。

7、硬膜外カテーテルの抜去

- 1) 硬膜外カテーテル抜去前に採血を実施する。
- 2) 産科病棟回診医が検査結果を確認し、硬膜外カテーテルを抜去する。
- 3) 硬膜外カテーテル抜去後の観察を行う。
 - ①抜去部からの持続出血の有無
 - ②抜去部の発赤、腫脹、疼痛の有無
 - ③背部痛、感覚の有無
 - ④固定テープ貼付部の発赤、掻痒感、発疹の有無
 - ⑤頭痛や嘔気、嘔吐の有無

2025 年 7 月 24 日改訂